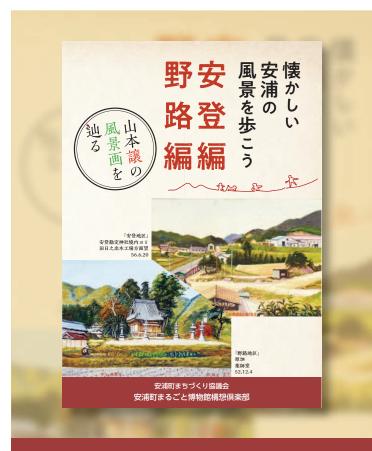
スタイリスト YOSHIKO のファッション通信

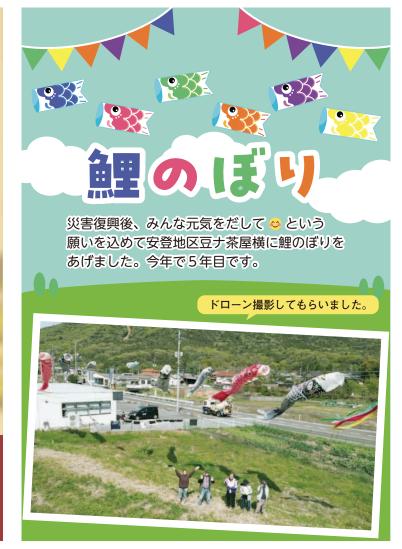
〈 お手持ち服にスタイリスト服を+着てない服が蘇る ∜ 〉

撮影協力:グリーンピアせとうち





山本譲氏の安浦風景画のマップ 安登編・野路編ができました。 必要な方は、安浦まちづくりセンター(旧公民館)受付 にてお受け取りください。





No.55 発 行 令和5年6月10日

安浦町まちづくり協議会 〒737-2516 呉市安浦町中央4丁目3-2(呉市役所安浦市民センター内) 電話:0823-84-2261(年4回発行)





河津桜(3月)

八重桜(4月)

咲きました※今年もきれいに SDGs みんなで地域をきれいにしよう♪活動





洁掃活動

ボランティアのみなさん

2022 (令和4) 年12月10日安浦地区公衆衛生推進委員、安浦町まちづくり協議会委員約30名で、春にきれいな桜の花が咲くようにと願い、桜並木の下草を刈りました。

昨年は、雨が多く草の背丈も伸び、くずなどの蔓も桜の木にからみつき大変な状態で、草刈作業中には、空き缶や 弁当容器などごみが散乱しているのもみうけられました。

冬には川に鴨などの渡り鳥、春には河津桜・八重桜が見られ、河畔は絶好のウオーキングコースになっています。 ごみを捨てないようにしてきれいなウオーキングロードにしたいものです。



安浦町まちづくり協議会広報部 TANTO 記者募集!!

私たちは、安浦町の魅力を広めていけるよう ボランティアで活動しています。

安浦町の情報発信に興味がある方、大歓迎!!



やすうら記憶

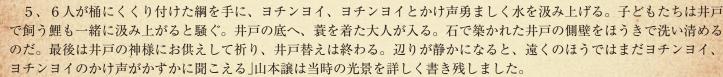
井戸替え 井戸の水替え行事

連載「やすうら記憶遺産」とは?

安浦町の風物を描き残した画家・山本譲 (1904-1994)の400枚にのぼる絵を 明治から昭和に至る安浦町の歴史や記憶を掘り起こし、絵の中の人々の を後世に伝えていく取組みです。

まちづくり広報誌 [TANTO] 紙上で2016 (平成28) 年No.28/9月号から連載 を始め、今回で28回目のお話となります。

この絵を描いた山本譲の子どもの頃のお話ですから、大正の頃です。 「盆の2、3日前になると近所の人が共同で井戸替えをした。



歌舞伎や落語の題材にも残る井戸替えの風景は、近代水道の発達とともに現在では滅多に見られないものとなりました。 また、この井戸替え(井戸浚え、とも言う)は、七夕の行事のひとつで、衛生上の観点だけではなく、穢れを払う信仰も含 まれていました。七夕の頃には井戸替えをし、牛馬を川で洗い、女性たちが長い髪を洗うなど〈水〉と結びついた様々な清 めの行事があったのです。ちなみに、井戸で鯉を飼うのは水質の安全を確かめるための庶民の知恵だったと言われています。 七夕が、旧歴(現在の8月)から新暦(現在の7月)へ移ったことで、水にまつわる禊ぎ(みそぎ)の行事はしだいに忘れら れていきましたが、安浦にもあった古い行事を、山本譲は自身の体験として描き残しました。



-クル〔ちらくれん〕







手話を覚えてみませんか!

少し前に手話を扱ったドラマ「サイレント」「星降る夜に」などが放送 され話題になりました。

手話は主に聴覚に障害のある人が、手、指や体の動き、視線や表情 などを使って表現する言語です。多くの講演会などでは、全ての参加 者に理解して貰うため、手話通訳が行われています。聴覚障害のある

人を一般的に「ろう者」と呼びます が、身近にろう者がいて接する機会 が多い場合、家族や知人は、手話を 理解し意思疎通を図らないと、気持 ちの共有が出来ません。

『ちらくれん』は毎週土曜日19時 ~20時30分、安浦まちづくりセン ターで手話教室を行っています。希 望者は誰でも参加でき、自由で楽し い教室なので、興味のある人は尋ね てみて下さい。



散策のすすめ◆妙見社に残る貝塚

安登地区と中切地区の境の小高い山の麓に妙見社が奉られています。 創建などは不明ですが神社裏の斜面には、貝殻がたくさん見られます。 昔は山頂近くまで田や畑が広がっていましたが、現在は荒れはてて雑 木林になっています。この神社付近では、農道を整備したときにもたく さんの貝が出てきて工事関係者が大変驚いたと聞いています。古老の話 によると、安登地区境から中切地区、中切三本松公園付近までなだらか な丘陵地で、昔、人が住んでいたのではとのことです。

神社前に立って目を閉じると、風の音、小鳥のさえずり、若葉のにお いなどが体感でき、太古の昔に思いを馳せることができます。ぜひ、訪 れてみてください。

また、安浦地区にはもう一カ所、日之浦神社境内に貝塚がありますが、 いずれの所も詳細な調査はおこなわれていません。







女子畑地区では、支え合う地域を目指した、地域活性化につながる事業を行う「女子畑地域活性化プロ ジェクトチーム | が結成されました。

2023(令和5)年3月26日に役員会が開かれ、組織体制の説明や意見交換が行われました。会議では、 「とにかく行動をして、結果を作って重ねていくこと」という、これからに期待できそうな意見も出ました。 松田和幸自治会長を筆頭に年齢層は20~70代と広く、10名が参加しており、なかにはチーム結成以前 から、やぎ牧場や芋ほり体験学習を実践しているメンバーもいます。

具体的な内容としては、農業支援活動や環境整備事業、外出支援活動の3点が考えられていますが、地 域活性化につながるために必要なことがあれば、自分たちでできることを中心になんでも実施に向けて活 動していくとのことです。中でも外出支援活動は、昨年3月から外出支援試行運用をしており、今年の自 治会総会でも1年間の実績報告があったこともあり「※女子畑フラワー便」が当面の間の主な活動になり そうです。

活気溢れる元気な地域目指して進み始めた女子畑地区、これからが楽しみですね。

※女子畑フラワー便とは…

女子畑自治会で外出支援事業を実施予定の、車による送迎サ-

